



総合計画策定議案

平成27年度 6月補正予算案

平成27年6月9日

Ⅰ 総合計画策定議案を議会に 提出します



これまでの経緯

主な動き

- ◆ 骨子案を2月定例県議会へ報告(2/9)、議論
- ◆ 骨子案パブリック・コメント(2/16～3/19)
 - ・メール、FAX等で意見募集
 - ・知事と県民との意見交換会(県内6会場、3/12～3/19)

意見等件数:630件

意見交換会参加者:約760人

- ◆ 素案公表(5/15)
- ◆ 素案パブリック・コメント(5/15～5/28)
 - ・市長会・町村会との意見交換会(5/22)

意見等件数:153件



【知事と県民との意見交換会】

➡ **意見や議論を踏まえ、総合計画策定議案を県議会に提出**

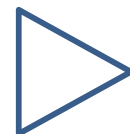


総合計画最終案へのパブリック・コメントの反映（抜粋）

市町長との意見交換会(5月22日)を踏まえた反映

意見

ラムサール湿地登録が有明海の環境保全のひとつのシンボルになろうかと思えます。総合計画の中にラムサールの記載をお願いします。



対応

最終案の第3章「自然環境と生物多様性の保全と活用」にラムサール条約湿地に係る文言を反映しました。

住環境というものが変わってきている、これからも変わろうとしている状況の中で、空き家対策も含めた住環境について記述はあるのでしょうか。



空き家対策については、第3章『快適に暮らせる「まち」づくり』の住環境の整備に関する記述に包含しておりましたが、最終案に主な取組（市町への助言や情報提供の継続支援など）を明記しました。



総合計画最終案へのパブリック・コメントの反映（抜粋）

その他パブリック・コメントを踏まえた反映

意見

施策名「地域づくりの取組を進める市町の支援」に「市町の支援」とありますが、「県民の地域づくり活動の支援」の意で書いた方がいいのではないのでしょうか。

施策名「地域福祉の充実」について、福祉は行政が行うものというイメージからの発想の転換が必要だと思いますので、施策名に主体が誰であるのか記載できないのでしょうか。

対応

地域における自発的な地域づくりの取組を、県と市町が連携して支援していくこととしており、最終案の施策名に反映しました。

【反映前】地域づくりの取組を進める市町の支援



【反映後】自発の地域づくりの推進

地域福祉の充実には、地域住民の支えが欠かせないということを明確に示すために、素案・最終案の施策名に反映しました。

【反映前】地域福祉の充実



【反映後】住民とともに支える地域福祉の充実



基本理念と6本の政策の柱

基本
理念

人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり

1 安全・安心の暮らし さが

2 楽しい子育て・あふれる人財 さが

3 人・社会・自然の結び合う生活 さが

さが創生

4 豊かさ好循環の産業 さが

さがデザイン

5 文化・スポーツ・観光の交流拠点 さが

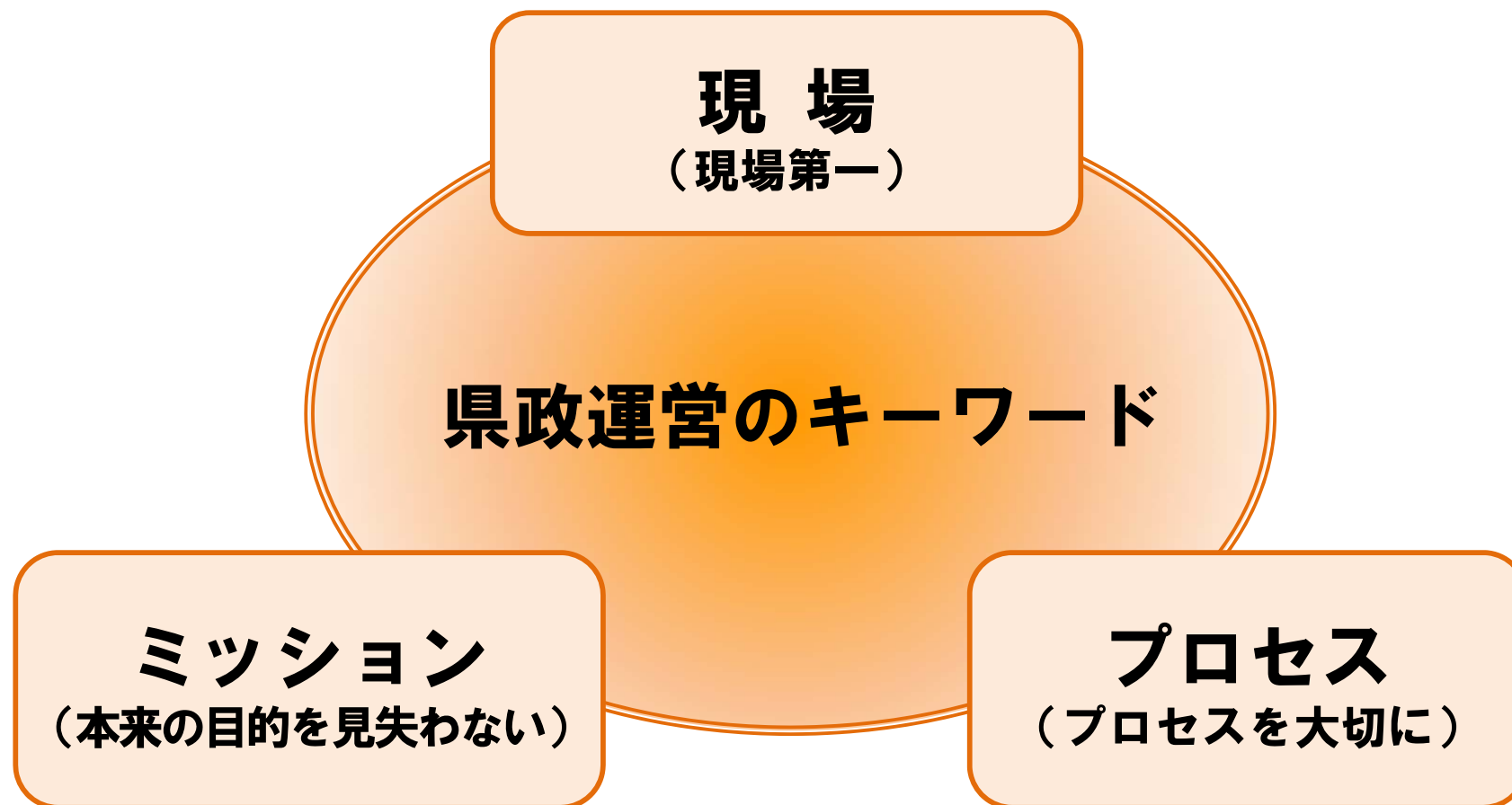
6 自発の地域づくり さが

【“佐賀らしさ”を磨く視点】

- 子育ての希望をかなえる環境、時代に合った地域を創り出す「さが創生」
- 人の暮らし、まち・地域を心地よくし、豊かなものにする「さがデザイン」



計画の推進のために





総合計画2015推進のための体制整備

目的

総合計画2015に基づき、“佐賀らしさ”を磨く2つの視点で政策を推進するため、必要な体制を整備する。

I さが創生

II さがデザイン

統括本部

さが創生推進課（仮称）の設置

○取り組む内容

- ・人口ビジョン・総合戦略の策定
- ・地域振興施策
- ・移住の支援（相談窓口含む）

さがデザイン担当（仮称）の設置

※政策監G内に新設

○取り組む内容

- ・「さがデザイン」の視点での各施策の磨き上げ支援

II 平成27年度 6月補正予算案



Ⅰ 予算の基本的な考え方

佐賀 “さいこう” 予算 2015

2つの「さいこう」を軸に

最高

最高の佐賀を、私たち自身が認知し、さらに磨き上げ、発信していく。

再興

かつて、人づくり、ものづくりで世界をリードしていた佐賀を再興する。



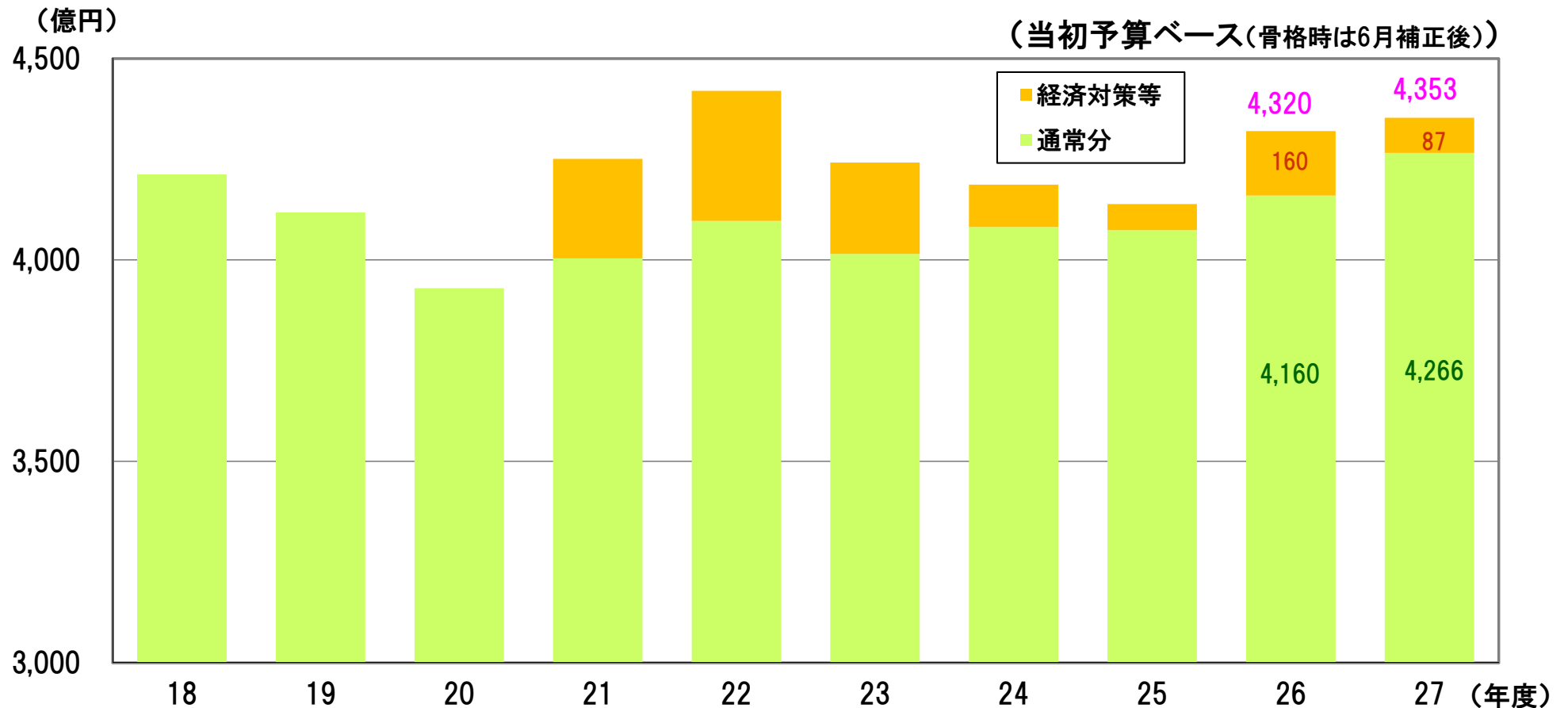
II 予算案の規模

今回補正額	471億82百万円
補正後予算総額	4,353億29百万円 (26年度当初予算比 0.8%) (26年度最終予算比 0.4%)



III 予算案の規模の推移

平成27年度予算（骨格+肉付）は、
26年度と同程度となっている。



さが創生

安定した雇用を創出する

- ものづくり人財創造事業
- “農の夢”応援プロジェクト など

本県への新しいひとの流れをつくる

- 移住促進事業
- スポーツ・パートナーシップ戦略事業
- 佐賀空港国際線誘致促進事業 など

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- 子育てし大県“さが”プロジェクト
 - SAGA婚活応援事業
 - 子育てし大県“さが”推進事業
 - 子育て世代就活サポート推進事業
 - 軽度・中度難聴児補聴器購入費補助 など

時代に合った地域をつくる

- さが段階チャレンジ交付金
- 自発の地域創生プロジェクト
- さがを誇りに思う教育推進事業
- さが元気プロジェクト74 など

さがデザイン

モノ

県産品、街並みなどを磨き上げる

- さが土産品開発支援プロジェクト計画策定事業
- Oishii! SAGA 輸出チャレンジ支援事業 など

コト

社会のシステム、サービスなどを磨き上げる

- 子育てし大県“さが”プロジェクト<再掲>
- 地域創発による地域交通モデル事業 など

さが創生：安定した雇用を創出する

新規

ものづくり人財創造事業

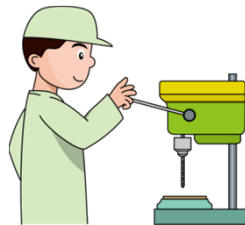
事業内容

雇用労働課 1,000,000千円

目標

- ・技能・技術を持つ人が、これまで以上に社会で尊敬され、評価される県
- ・若者が、さらに誇りと自信を持ち、ものづくりに従事する県

取組

ものづくり人財の育成
(教育現場へのアプローチ)技能・技術の磨き上げ
(企業へのアプローチ)「ものづくり」を再評価する機運
の醸成(広く県民へのアプローチ)

財源

佐賀県ものづくり人財創造基金(10億円)

事業期間

平成27年度～平成30年度

さが創生：安定した雇用を創出する

新規

“農の夢” 応援プロジェクト

事業内容

農産課 19,764千円

農業者の
スキルアップ

- 中央などで活躍する著名な講師を招いた先進的な目的別研修（スキルアップ研修）の開催



経営発展

雇用型経営体
の育成

- 市町、農協など地域が主体となったトレーニングファームのモデル整備支援



独立就農



事業期間

平成27年度～平成30年度

（トレーニングファーム整備に係る地区推進活動事業は平成31年度まで）

さが創生：本県への新しいひとの流れをつくる

新規 移住促進事業

事業内容

政策監グループ 24,613千円

- 移住相談へのきめ細やかな対応を行うワンストップ相談窓口の設置
- 都市圏（東京、福岡）での移住フェアへの参加
- メディアやホームページを活用した情報発信 など



事業期間

平成27年度

さが創生：本県への新しいひとの流れをつくる

新規 スポーツ・パートナーシップ戦略事業

事業内容

スポーツ課 16,000千円

海外からの選手・指導者の受入れ及び本県からの選手・指導者の送り出し
によるスポーツ相互交流

- **スポーツ相互交流**
大会等への招待参加、合同キャンプ、交流試合、
スポーツ留学 等
- **対象とする国・競技種目の候補**
 - ・オランダ / 柔道、空手、パラリンピック競技
 - ・フィジー / ラグビー
 - ・トルコ / レスリング、バルーン
 - ・イタリア / サッカー 等



事業期間

平成27年度～平成30年度

さが創生：本県への新しいひとの流れをつくる

佐賀空港国際線誘致促進事業

事業内容

空港課 34,612千円
(債務負担行為限度額 74,281千円)

春秋航空による新規国際路線
(佐賀 - 杭州線)の定着に向けた
運航経費支援(着陸料の補助等)

国内広報



事業期間

平成27年度～平成28年度

さが創生：本県への新しいひとの流れをつくる

「佐賀空港がめざす将来像」をとりまとめます。

■タイトル

佐賀空港がめざす将来像（案）
～九州におけるゲートウェイ空港へ～

■めざす将来像

基幹路線である東京便を中心としながら、LCCの拠点空港化を進め、九州におけるゲートウェイ空港としての地位を確立している。

■とりまとめ方法

今後、パブリックコメントを実施し、成案をとりまとめます。

■将来像実現に向けてのロードマップ

- 路線計画
- 旅客ビル、駐機場の機能強化の内容検討及び整備
- 滑走路延長（2,500m化）に向けた検討の開始
- 「九州佐賀国際空港」という愛称使用の検討 など



さが創生：結婚・出産・子育ての希望をかなえる

新規**子育てし大県“さが”プロジェクト****事業内容**

男女参画・県民協働課、こども未来課、母子保健福祉課他 35,623千円

結婚、出産、子育ての希望がかなう環境が整備され、佐賀で子育てがしたいと思われるような佐賀県づくりを推進するプロジェクト

出会い

結婚

妊娠

出産

子育て

出会いの創造(結婚支援等)

- ・ S A G A 婚活応援事業費

**安心して子どもを産める環境
づくり(不妊治療支援等)**
**子育て世帯に寄り添う支援
(保育サービス/母子医療・福祉等)**

- ・ 利用者支援事業(母子保健型)費補助
- ・ 軽度・中度難聴児補聴器購入費補助

**楽しく子育てができる環境
づくり(地域での子育て活動等)**

- ・ イキメン推進事業費
- ・ 佐賀県子育て世代就活サポート事業費

・ 子育てし大県“さが”推進事業費
ワークライフバランスの実現

- ・ ワーク・ライフ・バランス推進事業費

「子育てし大県“さが”推進本部」を設置【プロジェクトを効果的に推進】

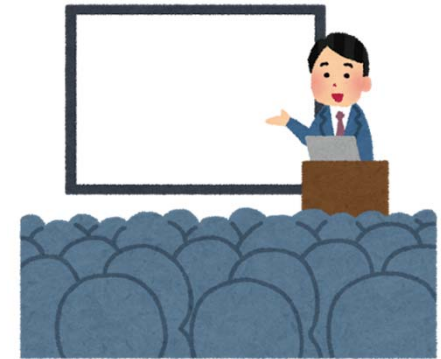
さが創生：時代に合った地域をつくる

新規**さがを誇りに思う教育推進事業****事業内容**

学校教育課 1,157千円

郷土に関する
学習の改善充実

- ・小・中学校、高等学校における郷土学習の推進
- ・県立高校等における講演会の開催

郷土学習資料
の作成郷土学習資料の企画・活用及び
編集に係る委員会の開催

※郷土学習資料の印刷製本は平成28年度

事業期間

平成27年度～平成30年度

さが創生：時代に合った地域をつくる

新規**さが元気プロジェクト74****事業内容**

長寿社会課、健康増進課 10,205千円

**介護予防
推進事業**

高齢者ボランティアポイント制度の拡充を支援

- ・受入施設拡充、ポイント交換方法の見直し、
広報啓発

**さが健康寿命
UP推進事業**

「健康寿命」を延ばすための健康情報発信

健康寿命UPのための実践活動

- ・健康イベント開催、歯科ドック推進事業



さが創生：時代に合った地域をつくる

新規**さが段階チャレンジ交付金****事業内容**

市町村課 550,000千円

集落等生活圏の維持及び活性化を図るために、地域住民自らが考え、実行する際に必要な経費の一部として、関係市町に交付金を交付する。

交付金活用のイメージ

○課題

- ・ 特産品等の販路拡大
- ・ 担い手の不足 など

○地域の声

- ・ 地域産品を積極的に活用したい！
- ・ 地域の伝統ある文化を守りたい！

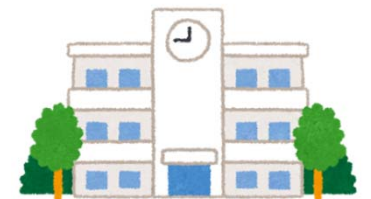
など



地域産品を活かした加工品開発チャレンジ



伝統行事・祭の再興、記録



遊休施設・耕作放棄地等を活用した地域住民の居場所づくり

事業期間**平成27年度**

事業① 佐賀市 | 海童神社奉納天衝舞浮立継承事業

事業主体：海童神社浮立保存会

課題

- ・ 少子高齢化に伴う浮立の打ち手の減少
- ・ 一部地区での浮立行列の披露が途絶えた状況
- ・ 浮立が支えてきた地域の絆の弱体化



取組内容



- ・ 地域自慢の特産物を用いて、地元産品の魅力を学ぶ！



- ・ 校区全域で浮立行列を披露、元の浮立の姿を復活！
- ・ 子ども浮立へ参加呼びかけ！



- ・ 地域の外にも宣伝！

効果

- ・ 校区全体の交流活発化
- ・ 浮立の伝統、食文化の継承による地域のアイデンティティの形成
- ・ 域外からの集客→地元住民の浮立に対する意識の向上・新たな視点の発見

事業② 鳥栖市 | 鳥栖カルタ作成事業

事業主体：鳥栖地区まちづくり推進協議会

課題

- ・地域の歴史、文化の伝承機会の確保
- ・地域における高齢世帯の孤立化
- ・地域コミュニティのつながり希薄化



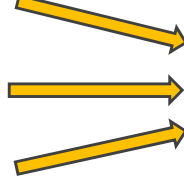
取組内容

[背景]
鳥栖市では、平成27年度より市内の全小中学校で教科「日本語」の授業を行い、俳句、論語、礼儀作法などを教えている。

楽しみながら、
鳥栖の歴史&文化を学ぶ!



「鳥栖のいいところ」
を市内全域から募集!



< 地域住民 >

地域で
選考・編集!

”鳥栖カルタ”作成

→ 小中高校、老人クラブ等へ配布

カルタ大会の実施

効果

- ・カルタの作成過程を通じた地域の人材発掘、交流の促進
- ・多世代間での交流促進、鳥栖の歴史・文化の共有



事業③ 鹿島市 | 「平谷しいたけ学校」活動事業

事業主体：能古見地区振興会

課題

人口流出を防ぐため、

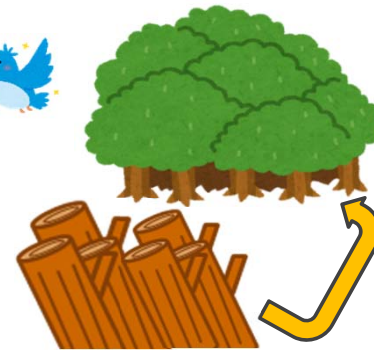
- ・子供たちが地元の魅力を認識する機会を充実すること
- ・移住希望者への鹿島の魅力を体験する機会の充実 **が急務**



取組内容



ボランティア活動「海の森植樹祭」で植えた鹿島産のホダギ（クヌギ）を利用！



ホダギへの菌打ち ▶ 森林内への据え付け ▶ 収穫体験

効果

- ・ 地元小学生に対する、地域の自然・林産物の魅力を認識する機会の提供
- ・ 新規就業希望者への体験機会提供による定住促進



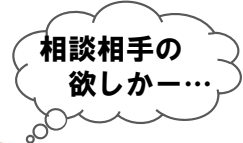
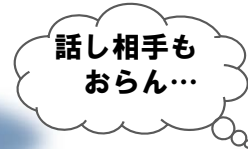
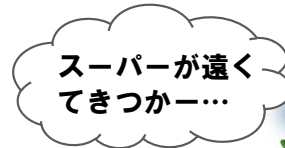
事業④ 武雄市 | かんころの家を生かした

コミュニティ活性化事業

事業主体：西川登町地域婦人会

課題

- ・ 買い物環境の悪化
- ・ 少子高齢化による、集落の活気の低下

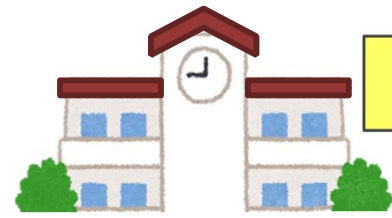


取組内容

「かんころの家」とは

・ **かんころ…さつまいも・大根の切干**
終戦間もないころ、校舎建設費の大部分が村のかんころ産業の収益でまかなわれたことにちなんでつけられた名称。

地元婦人会が
中心となり運営！



元々中学校校舎であった
→「かんころの家」



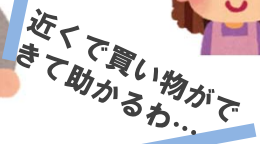
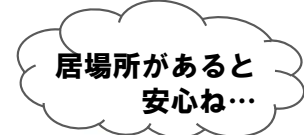
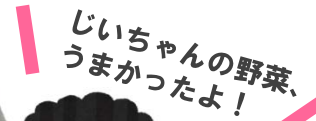
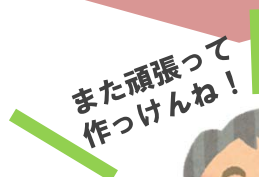
おいしい野菜ば食べてほしか！

皆で色々作ったとよ！どがんね？

- ・ 農産物、花苗、手作り品等の持ち込み販売所を開設
- ・ ゲーム、花の世話、手芸等を通じた、地域の交流の場づくり

効果

- ・ 身近な買い物手段の提供
- ・ 町民の農産物、花苗等の生産意欲向上
- ・ 高齢者の生きがい創出



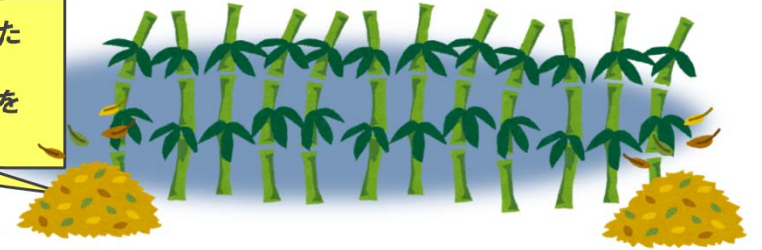
事業⑤ 吉野ヶ里町 | 竹楽器を通じた、里山の環境整備と 異世代交流活性化事業

事業主体：吉野ヶ里バンブーオーケストラ

課題

- ・ 中山間地の過疎化、高齢化
- ・ 里山の荒廃→竹林等の環境整備が急務に

ノリ養殖の竿用として植えられた竹が繁殖。
竹製竿の需要縮小に伴い、地域を支えた資源が地域の課題に...



取組内容



〈 地域住民 〉



竹の伐り出し、
竹林整備の技術習得



竹楽器製作の
知識・技術を習得



竹楽器を製作 & 演奏!

効果

- ・ 継続的な里山整備活動の実施
- ・ 多世代交流の場の提供
- ・ 地域の将来を担う人材の育成



さが創生：時代に合った地域をつくる

新規 自発の地域創生プロジェクト

事業内容

市町村課 86,719千円

地域の自発の取組に「背中を押す」、「刺激を与える」観点から、さが段階チャレンジ交付金とあわせて、地域の様々な実態・実情に応じた支援を実施する。

【県直営事業】



事業期間

平成27年度～平成29年度

さがデザイン：モノ

新規

さが土産品開発支援プロジェクト計画策定事業

事業内容

商工課 16,616千円

土産品開発（県産品の特徴を際立たせることによる既存商品や新商品などの磨き上げ）支援の仕組、販売展開・情報発信の手法の検討・選定

さが土産品開発支援プロジェクト イメージ

【土産品開発側】

土産品開発促進・支援

【販売側】

メーカー

さかの逸品

販売支援

物産店舗

生産者

磨き上げ

商品選定・ブランド構築、
販売展開の支援

駅・空港・
SA

市町

旅館・
ホテル

ECサイト

6次産業
事業者

既存商品
新商品

百貨店・
スーパー

観光地

事業期間

平成27年度

さがデザイン：モノ

新規 Oishii! SAGA 輸出チャレンジ支援事業

事業内容

流通課 9,368千円

※H27～H30の4年間を集中支援期間と位置づけ、加工食品の輸出促進支援を強化

補助事業

- 海外販路開拓に向けた取組に必要な経費に対する補助
 - ・事業実施主体：加工食品事業者
 - ・対象経費：①市場調査 ②パッケージ開発費 ③見本市等への出展経費 ④試食試飲会のサンプル代 ⑤バイヤー招へい ⑥テスト輸出経費等

県実施事業

- 事業実施主体が行う取組に対する国内外での側面支援
- 事業報告会及び海外販路開拓に関する研修会の開催

事業期間

平成27年度～平成30年度



新規 地域創発による地域交通モデル事業

事業内容

新幹線・地域交通課 8,000千円

(1) 地域交通見直し検討推進モデル事業

実態調査等を基に、詳細な調査検討や、移動手段確保検討への支援

(2) 地域交通利用促進モデル事業

潜在的な利用者(高齢運転者等)や観光客等の利用促進を図り、スモールサクセスを創出

モデル事業の成功事例(スモールサクセス)を県内各地に広げる



新規 防災情報共有システム整備事業

事業内容

消防防災課 100,000千円

災害時に活用できる地理情報システム（防災GIS）を構築することにより、災害対応業務の効率化を図るとともに、地図情報として情報を公開することにより、県民に災害を身近なものとして認識してもらうことで、防災意識の向上を図る。

- ・市町や現地機関から送られてくる情報が地図上に表示され、素早く県内の状況を把握
- ・モバイル端末を持った職員等からの情報を、直接地図上に表示

危機管理センター



システムに入力された災害情報が地図上に表示され、全県的な状況の把握が可能となる

事業期間 平成27年度～平成28年度

その他安全安心

新規

「佐賀県交通事故ワースト1からの脱却！」
緊急プロジェクト

事業内容

くらしの安全安心課、交通企画課 60,457千円



交通安全啓発
テレビCMの
放映

広報

広報ツールの
作成・配布

車両等貼付用
ロゴステッカー
等の作成・配布



交通事故の増加
率が高い市町での
応援教育隊による
交通安全教育の実施

交通安全
教育

優良市町
の表彰

交通事故の
減少率が高い
市町の表彰



+ 移動式交通安全教育

交通安全教育車による
交通安全教育の実施



事業期間

平成27年度～

**「さが創生」と「さがデザイン」の
取組を通じて、「最高」の佐賀と
佐賀の「再興」を実現します。**

お問合せ先

佐賀県 政策監グループ

TEL:0952-25-7541

FAX:0952-25-7263

E-mail:seisakukan-g@pref.saga.lg.jp